

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

上川管内 士別市立士別小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、校内に郷土資料展示コーナーを設置し、アイヌの人たちが使う道具や衣服等を展示するとともに、士別市立博物館学芸員や北海道アイヌ教育相談員の講話を通して、アイヌの人たちの歴史や文化について探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

今年度は、校内に郷土資料展示コーナーを設置し、児童がアイヌの人たちの道具や衣服などに触れ、トンコリ等の楽器体験や伝説等の動画を鑑賞するなどにより、アイヌの人たちの歴史や文化等に対する興味・関心を喚起し、「アイヌの人たちの歴史や文化について調べ、ロイロノートを使ってまとめる」という探究的な課題を設定しました。



【郷土資料展示コーナー】

(2) 情報の収集

北海道アイヌ教育相談員の講話や、博物館学芸員による出前授業やアイヌ文様作り体験などを通して、アイヌの人たちの歴史や文化についての知識や理解を深めました。児童が興味をもった「文化」「歴史」「衣」「食」「住」の5つの中からテーマを選択し、「アイヌ民族：歴史と現在－未来を共に生きるために－」（公益財団法人アイヌ民族文化財団発行）やICT端末を活用して、情報の収集を行いました。



【特別講師の講話】

(3) 整理・分析

収集した資料の整理・分析を行い、「北海道の地名など自分たちの身近なところにアイヌ語があること」「アイヌの人たちはカムイとして自然や生き物、身の回りのあらゆる物への感謝の心を大切にしていること」等を学びました。

(4) まとめ・表現

テーマごとに学習したことをICT端末を使ってまとめ、グループ内や学級全体で学んだことを発表し合い、アイヌの人たちの歴史や文化等についてさらに理解を深めました。アイヌの人たちが大事にしてきた思いや考え方についても意見交流を行い、学習したことを振り返りました。

②児童の感想等

- ・アイヌの人たちの作る料理や着る服について、他にも種類があるのかもっと知りたくなりました。
- ・勉強をしていくうちに、アイヌの人たちの暮らしなどにより興味をもちました。
- ・学習を通して、文化を大切にすることは、すごく大事なことだと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 児童アンケートの「北海道や自分達の住んでいる地域は好きですか。」という項目において、事前アンケートでは「好き」「どちらか」というと、好き」の児童が95.7%という結果でしたが、学習後の事後アンケートでは、96.6%に増加し、郷土に対する愛着を深めることができました。
- 児童の興味・関心を高め、課題設定や情報収集に主体的に取り組めるよう、士別市立博物館や北海道アイヌ教育相談員と連携し、単元の導入で博物館見学や特別講師による講話を行う必要があります。